

2021 年度（第 49 期）事業報告書

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

2022 年 5 月 13 日

一般社団法人日本溶接材料工業会

目 次

2021 年度（第 49 期） 事業報告書

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

1. 事業報告

①概況

②溶接材料の生産・出荷の状況

2. 事業報告の附属明細書

①会務報告

②理事会・委員会活動報告

- ・ 理事会
- ・ 統計委員会
- ・ 技術調査委員会

1. 事業報告

①概況

1. 経済環境の状況

2021年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる。

設備投資は機械設備投資等持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。また、企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。消費者マインドはこのところ弱含んでいるものの、個人消費は持ち直しの動きがみられる。

一方、海外経済をみると、米国では景気は持ち直しているが、金融資本市場の変動の影響や感染症による影響等を注視する必要がある。ドイツをはじめユーロ圏では、景気は厳しい状況が残る中で、持ち直している。ただし、ウクライナ情勢が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。中国では感染の再拡大の影響により、一部地方で経済活動が抑制されているものの、持ち直しの動きがみられる。海外経済の先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。

ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに留意する必要がある。

2. 我が国溶接材料の2021年度の状況

生産量は217,185トン(前年度比110.6%)、出荷量は216,784トン(前年度比108.3%)となった。2021年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症禍の影響を受け、自動車向けについては部品調達難から稼働減対応の影響を受けたものとみられ、低迷しているものの、建設及び産業機械分野を中心に緩やかな回復基調となった。この結果、昨年度は1973年に統計を取り始めて以降、最低の水準となったが、4年振りに前年度比で増加となった。品種別では、被覆アーク溶接棒は、生産量27,600トン(121.1%)・出荷量26,510トン(113.2%)、ソリッドワイヤ(TIGワイヤ含む)は、生産量92,834トン(120.5%)・出荷量92,472トン(117.2%)、フラックス入りワイヤは、生産量71,293トン(102.0%)・出荷量72,036トン(101.9%)、サブマージ溶接用材料は、生産量25,457トン(95.9%)・出荷量25,766トン(94.1%)となった。なお、国内外別の出荷では、国内向けは182,132トン(106.2%)と4年振りに増加し、輸出向けは34,652トン(120.8%)と、2年振りに3万トン台となった。

一方、輸入量は72,442トンで、前年度の62,550トンに対し9,892トン(115.8%)の増加となった。品種別では、フラックス入りワイヤが29,667トン(107.8%)、被覆アーク溶接棒は1,088トン(106.6%)及びソリッドワイヤ他が41,687トン(122.6%)といずれも増加した。国別輸入では韓国からの輸入量は38,576トンで、前年度の32,384トンと比較すると6,192トンの増加となり、輸入量全体に占める韓国の比率は53.3%(前年度51.8%)となった。

3. 2021年度（一社）日本溶接材料工業会の主要活動概況

- (1) 当工業会の事業活動に当たっては、理事会及び各委員会・分科会ともコンプライアンスの遵守に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症禍の拡大を踏まえ、工業会「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」に沿って、WEB会議の活用等により安全・安心な事業運営に努めた。
- (2) 健全な財政運用の実現に向けた工業会活動と経費のあり方について検討を行うとともに、WEB会議の活用等によりペーパーレス化や効率的な会議運営を行った。
- (3) 2021年度「ドイツ・エッセン」は、主催者側が開催中止を決定したため、2023年度「ドイツ・エッセン」の派遣に関する進め方を検討した。
- (4) 2022年7月に東京で開催される第75回IIW2022年次大会・国際会議（IIW：国際溶接学会）に係るスポンサーシップについて、ゴールドスポンサーの申込みを行った。
- (5) 工業会50周年記念行事（2023年）に係る事業計画案の検討・策定を行い、事業の一つである工業会ホームページの刷新については、事前に検討を行った。
- (6) 当工業会の基本活動である統計業務については、各種統計データの集計・分析と会員、経済産業省等への資料提供及びホームページでの公表を行った。
- (7) 技術調査委員会では、WEB会議開催のIIW/ISO国際会議（IIW-2回、ISO-4回）に担当者が参加し、規格改定等の審議において日本の提案を行った。また、溶接に関わる将来技術動向、IoTや脱炭素化に関する3回の勉強会に加え、溶接展望第122号に「RFIDの基礎と活用事例」と題して技術レポートを掲載した。
環境対応分科会では、マンガン及びその化合物並びに溶接ヒュームの管理濃度に係る特定化学物質障害予防規則（特化則）の改正及び関係政省令への対応・検討をはじめ、化学物質排出把握管理促進法（化管法）政省令改正や、厚生労働省の「職場における化学物質等の管理報告書」による政策の大転換に係る情報提供を行い、今後の対応等を検討した。さらに、国内外の化学物質規制・環境課題に対する情報収集と会員への情報提供を行った。IoT分科会においてはRFID適用について検討を行った。
- (5) ホームページコンテンツの作成及び各種資料（事業報告・決算報告、事業計画・収支予算、溶接展望、各種統計、溶接材料出荷量分析報告、技術・環境関連情報等）の公表を行った。

2. 事業報告の附属明細書 ①2021年度 会務報告

月日	委員会・会務名等	時間・場所	委員会議事・会務内容
4月6日	正副理事長・幹事会	15:00~15:45 WEB会議	理事会及び定時総会開催方式等の確認
4月13日	工業会 監事監査	14:00~15:00 工業会会議室 (4F)	工業会監事 2020年度事業及び決算監査
4月16日	溶接材料出荷量分析 編集会議	11:00~11:45 工業会会議室 (4F)	2020年度溶接材料出荷量分析 (速報版) の打合せ
4月23日	正副理事長・幹事会	16:00~17:30 工業会会議室 (4F)	理事会及び定時総会議案等の最終確認
5月14日	第1回理事会	15:00~15:45 WEB会議	①2020年度事業報告及び決算承認 ②2021年度事業計画及び収支予算承認 ③委員会委員の委嘱及び委員長選任 ④溶接展望第122号構成案 等
	日本溶接材料工業会 2021年度49期定時総会	16:00~17:00 WEB会議	①2020年度事業報告及び決算承認 ②2021年度事業計画及び収支予算承認 ③理事・監事の選任 ④委員会委員の委嘱及び委員長選任
	臨時理事会	17:00~17:15 WEB会議	①代表理事/会長、副会長、理事長及び副理事長の選定 ②専務理事の選定
6月9日	第1回環境対応分科会	13:30~15:00 WEB会議	①前回議事録の確認 ②各種委員会情報(溶接協会, 日化協等) ③特化則改正(溶接ヒューム/マンガン)最新動向の情報共有
6月17日	第1回統計委員会	15:45~17:40 WEB会議	①前回議事録の確認 ②需要部門別・地域別出荷量調査 (2021年1月~3月期実績) ③流通在庫調査 (2021年3月末) ④溶接材料の輸入分析 ⑤2020年度出荷量分析について ⑥その他 (今後の統計委員会開催予定等)
6月18日	第1回技術調査委員会	14:00~16:00 WEB会議	①前回議事録の確認 ②ISO会議出席報告 ③溶材等ISO規格案の作成状況 ④環境対応分科会の活動報告 ⑤IoT分科会の活動報告 ⑥2021年度開催計画と勉強会テーマ案 ⑦その他 (JISの見直し調査について)
7月2日	2020年度出荷量分析編集 会議	16:30~17:30 工業会会議室 (4F)	2020年度出荷量分析報告の最終確認
7月8日	正副理事長・幹事会	16:00~17:00 工業会会議室 (4F)	第2回理事会議案の確認
7月16日	第2回理事会	16:30~17:30 WEB会議	①2021年度第1四半期決算報告 ②臨時総会の招集について ③報告事項「2020年度溶接材料出荷量分析」について ④その他報告事項「2021年度工業会・理事会の行事予定」等
7月30日	臨時総会	書面審議	理事・監事の選任
8月30日	正副理事長・幹事会	16:00~17:00 工業会会議室 (4F)	工業会50周年記念行事等について
9月15日	第2回環境対応分科会	13:30~15:00 WEB会議	①前回議事録の確認 ②各種委員会情報(技術調査委員会、溶接協会, 日化協等) ③WESの改正及び定期見直しについて ④職場における化学物質等の管理報告書 (厚労省) について
9月28日	第2回統計委員会	16:00~17:00 WEB会議	①前回議事録の確認 ②需要部門別・地域別出荷量調査 (2021年4月~6月期実績) ③流通在庫調査 (2021年6月末) ④溶接材料の輸入分析 ⑤2020年度出荷量分析について ⑥その他 (今後の統計委員会開催予定等)

月日	委員会・会務名等	時間・場所	委員会議事・会務内容
10月22日	正副理事長・幹事会	16:00~17:00 工業会会議室(4F)	第3回理事会議案の確認、その他
10月29日	第2回技術調査委員会	13:00~14:45 WEB会議	①前回議事録の確認 ②IIW年次大会出席報告 ③溶材等ISO規格案の進捗状況 ④環境対応分科会の活動報告 ⑤その他(今後の技術調査委員会開催予定等)
10月29日	第1回IoT分科会	13:00~14:45 WEB会議	①前回議事録の確認 ②デンソーウェーブ『RFID co-LAB.』での試験計画 ③勉強会での質問内容の協議 ④その他(今後の予定等)
	勉強会(技術調査委員会及びIoT分科会合同)	15:00~16:15 WEB会議	講師:第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF) 事務局長 大村好則氏 「5G/ローカル5G普及推進の最新動向について」
10月29日	第3回理事会	16:30~17:30 工業会会議室(4F) ・WEB会議の併用	①統計委員会及び技術調査委員会活動報告 ②2021年度上半期決算報告 ③「溶接展望第123号」(2022年1月発行)の構成(案) ④工業会50周年(2023年9月)記念行事(案) ⑤報告(炭素税に係る共同要望書への連名について、今後の工業会・理事会の行事予定について)
11月9日	鉄鋼製品団体協議会例会	14:00~15:30 WEB会議	①各鉄鋼製品団体の近況活動報告 ②経産省 金属課 佐藤課長補佐説明:「金属産業の取引適正化に係る取組み」
11月12日	第3回統計委員会	16:00~17:00 工業会会議室(5F)	①前回議事録の確認 ②需要部門別・地域別出荷量調査(2021年7月~9月期実績) ③流通在庫調査(2021年9月末) ④溶接材料の輸入分析 ⑤その他(今後の統計委員会開催予定等)
12月2日	第3回環境対応分科会	13:30~15:00 WEB会議	①前回議事録の確認 ②各種委員会情報(溶接協会、日化協等) ③特化則改正(溶接ヒューム/マンガン)最新動向の情報共有 ④国内SDS付表2021の作成
12月9日	第3回技術調査委員会	14:00~15:45 工業会会議室(5F) ・WEB会議の併用	①前回議事録の確認 ②IIW及びISOに係る報告 ③環境対応分科会の活動報告 ④IoT分科会の活動報告 ⑤その他(今後の技術調査委員会開催予定等)
	勉強会	16:00~17:10 工業会会議室(5F) ・WEB会議の併用	講師:経済産業省金属課金属技術室 室長 大竹真貴氏 「鉄鋼分野における脱炭素化に向けた取組」
12月15日	正副理事長・幹事会	15:45~16:30 工業会会議室(4F)	①IIW2022拠出金額の決定及びスポンサー申込書の提出 ②新規入会者の提出書類及び審査・承認手続き ③総会の開催形式・場所の選定 ④その他
12月15日	ホームページ検討会合	16:30~17:30 工業会会議室(4F)	①工業会HP更新のスケジュール ②更新の方向性、仕様、業者、運用方法等 ③今後の進め方等
1月14日	ホームページ検討会合	10:00~12:15 工業会会議室(5F)	①コンテンツの概要、情報整理方法の検討 ②委託候補事業者に制作費見積り依頼 ③今後の進め方等
2月18日	第4回技術調査委員会	14:00~15:45 WEB会議	①前回議事録の確認 ②IIW及びISOに係る報告 ③ISO/TC44/SC3関連ISO規格案の作成状況 ④環境対応分科会の活動報告 ⑤2021年度事業報告案及び2022年度事業計画案の検討 ⑥2021年度予算の執行状況及び2022年度予算案の検討 ⑦2022年度委員会開催日程及び勉強会テーマ
	勉強会	16:00~17:10 WEB会議	講師:スコットベーター・ジャパン(株) カスタマーサービス(技術)担当 鎌田章氏 「接着の基礎から構造用接着剤の種類及び適用事例に関して」

月日	委員会・会務名等	時間・場所	委員会議事・会務内容
2月24日	鉄鋼製品団体協議会例会	14:00～15:30 WEB会議	①経産省 金属課 佐藤課長補佐説明：「価格交渉促進月間フォローアップ調査の結果について」 ②各鉄鋼製品団体の近況活動報告
2月25日	第4回統計委員会	16:00～17:30 WEB会議	①前回議事録の確認 ②需要部門別出荷量調査（2021年10月～12月実績） ③地域別出荷量調査（2021年10月～12月実績） ④流通在庫調査（2021年12月末） ⑤溶接材料の輸入量推移について ⑥2021年度事業報告・決算報告案及び2022年度事業計画・予算案の検討 ⑦2021年度溶接材料出荷分析の検討 ⑧2022年度委員会開催日程及び勉強会テーマ
3月4日	第2回IoT分科会	13:00～14:30 WEB会議	①前回議事録の確認 ②RFID試験方案の議論 ③溶接材料サンプルの予算化 ④ホームページ検討委員会の内容紹介について ⑤今後の予定 他
3月4日	正副理事長・幹事会	16:00～18:00 工業会会議室（5F）	第4回理事会議案の確認 ・第3四半期決算報告 ・理事会及び各委員会 事業計画・予算等 ・2022年度工業会・理事会等 のスケジュール ・新会員入会申込 他
3月9日	第4回環境対応分科会	13:30～15:00 WEB会議	①前回議事録の確認 ②各種委員会情報(溶接協会, 日化協等) ③特化則改正(溶接ヒューム/マンガン)最新動向の情報共有 ④英文版SDS付表2021の作成 ⑤国内向けSDSフォーマットrev.8の検討
3月11日	第4回理事会	16:30～17:30 WEB会議	①2021年度第3四半期（4月-12月）決算報告 ②理事会 2021年度 事業報告・2022年度 事業計画 ③統計委員会 2021年度 事業報告・2021年度 事業計画 ④技術調査委員会 2021年度 事業報告・2022年度 事業計画 ⑤新規入会申込 ⑥2022年度（第50期）収支予算 ⑦2022年度定時総会の開催 ⑧2022年度工業会・理事会の行事予定

②理事会・各委員会活動報告

I. 理事会

1. 全体運営

- (1) 工業会活動の適正な運営及びコンプライアンスの遵守を図った。
- (2) 健全な財政運用の実現に向けた工業会活動と経費のあり方について検討を行った。
- (3) 新型コロナウイルス感染症禍の拡大を踏まえ、工業会「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」に沿って、WEB 会議の活用等により安全・安心な事業運営に努めた。
- (4) 効率的な会議運営を図るため、理事会において WEB 会議等により事前に資料を配信し、ペーパーレス会議を実施した。
- (5) 2022 年度事業計画及び予算案の策定を行った。

2. 委員会と連携した重点活動推進

- (1) 2021 年度「ドイツ・エッセン」は、主催者側が開催中止を決定したため、派遣を行わなかったが、会員会社の人材育成を目的に、2023 年度「ドイツ・エッセン」の派遣に関する進め方を検討した。
- (2) 各種統計の整備に関する検討を行った。
- (3) 技術面・国際規格・環境面における課題の検討を行った。
- (4) 海外の溶接関連動向の情報収集と把握を行った。

3. 他団体との連携及び情報収集

- (1) 関係官庁からの指示要請や情報提供に適切に対応し、会員会社への情報共有を適時行った。
- (2) 2022 年 7 月に東京で開催される第 75 回 IIW2022 年次大会・国際会議に係るスポンサーシップについて検討し、ゴールドスポンサーの申し込みを行った。
- (3) 日本溶接協会と連携テーマの共有を進めた。

4. 広報活動その他

- (1) 総会は WEB 会議により実施した。
- (2) (一社) 日本溶接材料工業会 会報「溶接展望」を発行した (年 2 回)。
- (3) 工業会ホームページの運営に関わる支援を行った。
- (4) 理事会メンバーでの各種研究会、勉強会の企画検討を行った。
- (5) 工業会 50 周年記念行事 (2023 年) に係る事業計画案の検討・策定を行い、事業の一つである工業会ホームページの刷新については、事前に検討を行った。
- (6) その他、業界全体の諸課題への対応を行った。

II. 統計委員会

- (1) 溶接材料の生産・出荷・在庫・輸出・輸入に関する統計報告を行った（毎月）。
- (2) 2020年度 溶接材料に関する出荷量分析を作成し、公表した（2021年7月）。
- (3) 需要部門別溶接材料出荷量調査を実施した（4半期毎）。
- (4) 溶接材料地域別出荷量調査を実施した（4半期毎）。
- (5) 溶接材料流通在庫調査を実施した（4半期毎）。
- (6) 溶接材料の輸入動向に関する分析を実施した（4半期毎）。
- (7) 会報「溶接展望第122号」に「2020年度溶接材料出荷量分析（概要）」を掲載した。
- (8) 工業会ホームページに掲載する統計データの作成と掲載を行った。
- (9) 関係官庁への各種統計に関する協力を行った。
- (10) 2022年度事業計画を作成した。

III. 技術調査委員会

2021年度の委員会・分科会等については、コロナ禍のため、WEB会議の活用により審議を進めたが、12月には集合会議とWEB会議の併用で開催した。

- (1) 国際規格の内容検討及び修正案の提起
 - ・日本溶接協会と連携し、IIW及びISO国際会議(WEB会議)に担当委員が参加した。
IIW-2回(WEB会議 7月、2022年3月)
ISO-4回(WEB会議 5月、11月、2022年1月、3月)
 - ・溶接材料等のISO国際規格改正と作成への対応を行った。
- (2) JIS及びWESの定期見直し
 - ・JIS G3523「被覆アーク溶接棒用心線」の要否判断や2件のWES「溶接材料の管理指針」及び「溶接ヒュームに関する注意書の表示標準」の定期見直しに係る検討を行った。
- (3) 環境対応分科会
 - ・法令・規格の変更に伴い、国内向けSDS及び地域別のSDSフォーマットの見直しを行った。
 - ・日本化学工業協会「化学品管理委員会」、「海外法WG」・「GHS-WG」へ当工業会の委員が参加し、意見交換及び情報収集を行った。
 - ・国内外の化学物質規制、環境課題に関する情報収集及び提供を行った。
 - ・マンガン及びその化合物並びに溶接ヒュームの管理濃度に係る特定化学物質障害予防規則（特化則）の改正及び関係政省令への対応・検討をはじめ、化学物質排出把握管理促進法（化管法）政省令改正や、厚生労働省の「職場における化学物質等の管理報告書」による政策の大転換に係る情報提供を行い、今後の対応等を検討した。
- (4) IoT分科会
 - ・QRコードについては、2019年6月に「IoT分科会の活動報告『QRコードの活用方法』について」をとりまとめ、同月の技術調査委員会に報告した。
 - ・2021年度は、2020年度に行った次世代のRFID適用に係る勉強会を踏まえ、コロナ禍で延期となっている㈱デンソーウェーブ「RFID co-LAB.での試験計画」について、検討を行った。また、下記の通り、技術調査委員会と合同で勉強会を開催した。

(5) 溶接に関わる将来技術動向、IoT や脱炭素化等に関する勉強会の開催 (3 回)

①テーマ：「5G/ローカル 5G 普及推進の最新動向について」(技術調査委員会・IoT 分科会の合同実施)

講師：第5世代モバイル推進フォーラム (5GMF) 事務局長 大村好則氏

②テーマ：「鉄鋼分野における脱炭素化に向けた取組」

講師：経済産業省 金属課 金属技術室 室長 大竹真貴氏

③テーマ：「接着の基礎から構造用接着剤の種類及び適用事例に関して」

講師：スコットベーター・ジャパン (株)

カスタマーサービス (技術) 担当 鎌田章氏

(6) 会報「溶接展望」への技術レポートの投稿掲載

・「溶接展望 第 122 号」に「RFID の基礎と活用事例」と題し、清水弘之 技術調査委員長が技術レポートを掲載した。

(7) 2022 年度 事業計画案の作成を行った。

2021年度（第49期）決算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

2022年5月13日

一般社団法人 日本溶接材料工業会

貸借対照表
2022年3月31日現在

(単位：円)

	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1.流動資産			
現金	105,636	60,822	44,814
預金	31,031,786	28,796,593	2,235,193
流動資産合計	31,137,422	28,857,415	2,280,007
2.固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
海外派遣調査積立金	1,500,000	1,500,000	0
退職給与引当預金	1,200,000	900,000	300,000
特定資産合計	2,700,000	2,400,000	300,000
(3) その他固定資産			
敷金・保証金	2,307,240	2,307,240	0
その他固定資産合計	2,307,240	2,307,240	0
固定資産合計	5,007,240	4,707,240	300,000
資産合計	36,144,662	33,564,655	2,580,007
II. 負債の部			
1.流動負債			
預り金	3,162	3,687	△ 525
未払金	46,030	46,030	0
流動負債合計	49,192	49,717	△ 525
2.固定負債			
退職給与引当金	1,200,000	900,000	300,000
固定負債合計	1,200,000	900,000	300,000
負債合計	1,249,192	949,717	299,475
III. 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	34,895,470	32,614,938	2,280,532
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,500,000)	(1,500,000)	(0)
正味財産合計	34,895,470	32,614,938	2,280,532
負債及び正味財産合計	36,144,662	33,564,655	2,580,007

2021年度（第49期）正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人 日本溶接材料工業会

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	16,244,000	21,466,000	△ 5,222,000
計	16,244,000	21,466,000	△ 5,222,000
特別受取会費			
例会特別受取会費	0	0	0
理事会特別受取会費	0	0	0
統計委員会特別受取会費	0	0	0
技術調査委員会特別受取会費	0	0	0
海外派遣特別受取会費	0	0	0
計	0	0	0
雑収益			
受取利息	349	847	△ 498
雑収益	2,442	2,413	29
計	2,791	3,260	△ 469
経常収益計	16,246,791	21,469,260	△ 5,222,469
(2) 経常費用			
事業費			
総会費	27,500	41,400	△ 13,900
総会例会費	0	0	0
新年賀詞交歓会費	37,500	37,500	0
理事会費	19,900	0	19,900
統計委員会費	5,432	8,800	△ 3,368
技術調査委員会費	260,583	239,950	20,633
輸入原材料調達分科会費	0	0	0
海外分科会費	0	0	0
専門分科会費	53,021	23,369	29,652
会報発行費	169,400	154,000	15,400
海外派遣費	0	0	0
IIW/ISO派遣費	0	0	0
特別行事関連費	0	0	0
計	573,336	505,019	68,317
管理費			
事務所賃借料・光熱費	4,700,506	4,693,499	7,007
動産賃借料費	345,840	337,880	7,960
消耗品費	51,641	116,733	△ 65,092
印刷費	26,400	29,104	△ 2,704
通信運搬費	108,897	98,864	10,033
旅費交通費	140,940	157,244	△ 16,304
新聞図書費	83,239	83,239	0

団体費	12,000	32,000	△ 20,000
渉外費	8,636	0	8,636
雑費	200,349	105,451	94,898
業務委託料	334,000	334,000	0
システム改善・運営費	118,890	130,480	△ 11,590
給与手当	6,001,650	6,168,400	△ 166,750
福利厚生費	868,975	904,227	△ 35,252
退職給付費用	300,000	300,000	0
租税公課	90,960	80,480	10,480
予備費	0	0	0
計	13,392,923	13,571,601	△ 178,678
経常費用計	13,966,259	14,076,620	△ 110,361
当期経常増減額	2,280,532	7,392,640	△ 5,112,108
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,280,532	7,392,640	△ 5,112,108
一般正味財産期首残高	32,614,938	25,222,298	7,392,640
一般正味財産期末残高	34,895,470	32,614,938	2,280,532
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	34,895,470	32,614,938	2,280,532

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給与引当金

期末退職金要支給額を見積り、貸借対照表の負債の部に計上している。

引当金の増減額及びその残高は次の通りである。

勘定科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給与引当金	900,000	300,000	0	1,200,000

2 特定資産の増減額及びその残高は次の通りである。

勘定科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
特定資産				
海外派遣調査積立金	1,500,000	0	0	1,500,000
退職給与引当預金	900,000	300,000	0	1,200,000
小計	2,400,000	300,000	0	2,700,000
合計	2,400,000	300,000	0	2,700,000

3. 特定資産の財源の内訳は次の通りである。

勘定科目	期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
特定資産				
海外派遣調査積立金	1,500,000	0	1,500,000	0
退職給与引当預金	1,200,000	0	0	1,200,000
小計	2,700,000	0	1,500,000	1,200,000
合計	2,700,000	0	1,500,000	1,200,000

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2.に記載している。

2. 引当金の明細

引当金の明細については、財務諸表に対する注記1.(1)に記載している。